

2018年3月期 決算説明会

2018年5月16日（水）
株式会社 浅沼組
証券コード：1852

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



**この資料には、当社の業績予測並びに将来の見通しに関する記述がございます。
これらの記述は、現在入手可能な情報及び将来に影響を与える不確実な要因に係る仮定に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく記載と異なる結果になる可能性があります。**

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



会社概要

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



1724年、浅沼家は、柳沢藩の甲府から郡山への転封に際し、宮大工として随伴

1892年、明治25年に、奈良県大和郡山に弊社の創始者である浅沼幸吉により創業



1890 柳沢神社

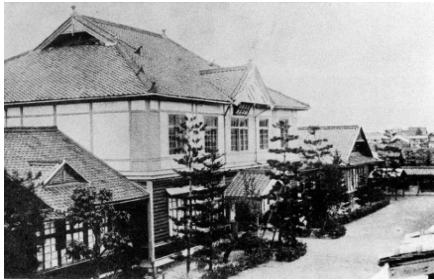


創業者 浅沼幸吉



創業当時の浅沼組本店

1882 吉野師範学校



1892 奈良県立郡山中学校



1896 奈良県立畝傍中学校

1910 奈良女子高等学校師範付属
高等女学校校舎



1923 奈良県立宇陀中学校



1912 六十八銀行本店



1926
大阪へ進出



大阪進出当時の社章



その後の社章



設立当時の社章



1929 大阪市立桃山病院

1937

株式会社浅沼組 設立

1939 東京・名古屋へ進出

1940 大阪市天王寺区東高津町に
本社ビル建設



浅沼組本社ビル



1952 沖縄米軍北部地区
大道路網工事

1946 東京支店を設置

1947 名古屋支店を設置

1949 沖縄へ進出



1956 大阪市立図書館

1963 大阪証券取引所
市場二部上場

1965 札幌支店
(現 北海道支店)
仙台支店
(現 東北支店)
福岡支店
(現 九州支店)
設置

1966 広島支店を設置

1968 大阪証券取引所
市場一部に指定替

1969 東京証券取引所市場
一部上場

1976 海外進出

1968
大阪万国博
プレスセンター



1975 奈良市庁舎

1983 横浜支店を設置

1986 帝京大学医学部附属
市原病院

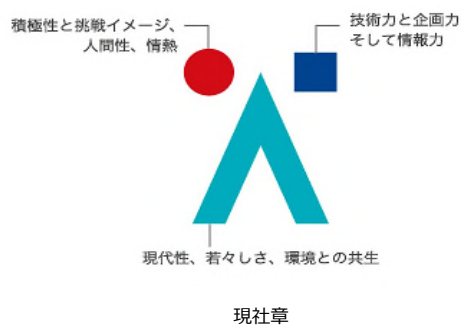


1987 技術研究所発足



1992 創業100周年
CI導入、新社章の制定

コーポレートマークについて



1995 神戸支店を設置

1995
戸ノ内災害復旧
(その1) 工事



1998
株式会社森精機製作所
名古屋ビル



1996
青少年文化センター
BCS賞



1998
阪神高速有馬口



2003 シティタワー大阪
CFT構造賞



2004
北関東支店
(現 さいたま支店)
設置

2008 京都大学 稲盛財団記念館
BCS賞



2010
宮内庁
正倉院事務所
BCS賞



2010 龍谷大学 龍谷ミュージアム
公共建築賞



2011 料亭嵯峨野
福岡県美しいまちづくり建築賞



2013 Dプロジェクト
相模原物流センター



2012 高松丸亀町G街区再開発事業
高松市美しいまちづくり賞



2012 アイアンウッドハイツII
グアム建設協会より住宅部門表彰



2015
ザ・タワー
横須賀中央



2015 東九州自動車道 上毛東



2016 神戸学院大学附属高等学校



2016 城東複合施設



おかげ様をもちまして
浅沼組は
2017年に
創業125周年を
迎えております。



これを機に新しくコーポレート・スローガンを作成

「誇れる歴史がある
創りたい未来がある」

2018年3月期 決算概要

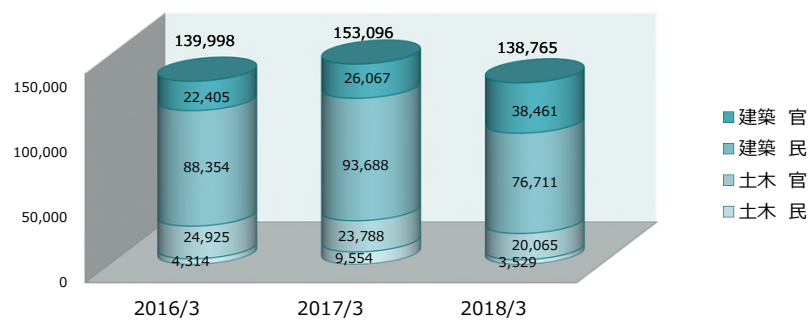


受注高

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



受注高 2016/3-2018/3



(単位：百万円)

	2016/3	2017/3	2018/3
建築 官庁	22,405	26,067	38,461
建築 民間	88,354	93,688	76,710
土木 官庁	24,925	23,788	20,065
土木 民間	4,314	9,554	3,528
計	139,998	153,096	138,765

2018年3月期 主な受注工事



建士	発注者名	工事名称	(単位：億円)
			請負金
建築	シモハナ物流株式会社	(仮称)シモハナ物流(株)高槻第2センター新築工事	31.9
	福岡県嘉麻市	嘉麻市新庁舎建設工事	37.7
	東京都	都立東村山高等学校(29)改築工事	19.6 (32.8)
	東京都交通局	(仮称)有明自動車営業所整備建築その他工事	31.7
	沖縄防衛局	シュワブ(H29)隊舎(0612)新設建築工事	23.0
	パナソニックホームズ株式会社	(仮称)パークナード代官山新築工事	38.0
土木	住友不動産株式会社	(仮称)中野新井4丁目計画新築工事	19.6
	東北震災復興関連工事	福島県浪江町除染、岩手県綴ヶ崎防潮堤工事等 他工事	39.5
	枚方市上下水道局	公共下水道第69工区楠葉雨水貯留管整備工事	25.0
	西日本高速道路株式会社	舞鶴若狭自動車道 石原工事	24.3
	独立行政法人鉄道・運輸施設整備支援機構	北海道新幹線、磐石トンネル(北)他	17.0 (68.3)

19



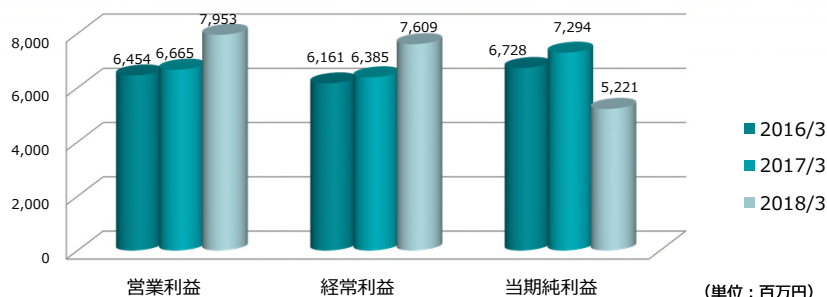
連結損益計算書

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



20

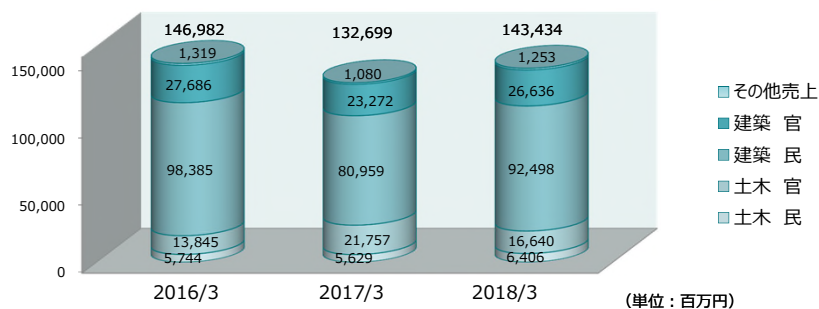
連結損益計算書



	2016/3	2017/3	2018/3 計画	2018/3 実績	計画 差
売上高	146,982	132,699	142,300	143,434	1,134
営業利益 (利益率)	6,454 4.4%	6,665 5.0%	7,660 5.4%	7,953 5.5%	293 0.1P
経常利益 (利益率)	6,161 4.2%	6,385 4.8%	7,330 5.2%	7,609 5.3%	279 0.1P
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	6,728 4.6%	7,294 5.5%	4,940 3.5%	5,221 3.6%	281 0.1P

21

連結売上高 2016/3-2018/3



	2016/3	2017/3	2018/3
建築 官庁	27,686	23,272	26,636
建築 民間	98,385	80,959	92,498
土木 官庁	13,845	21,757	16,640
土木 民間	5,744	5,629	6,406
その他売上	1,319	1,080	1,253
計	146,982	132,699	143,434

22

2018年3月期 主な完成工事



(単位：億円)

建士	発注者名	工事名称	請負金
建築	大和ハウス工業株式会社	(仮称) D P L川口領家新築工事	100.1
	地方独立行政法人芦屋中央病院	芦屋中央病院建設工事	36.2
	株式会社コスモスイニシア・ 近鉄不動産株式会社・大栄不動産株式会社	(仮称) 桂大橋計画新築工事	29.3
	阪急阪神不動産株式会社	ジオ四谷荒木町新築工事	40.7
	一般財団法人日本ガス機器検査協会	日本ガス機器検査協会 名古屋事業所建替プロジェクト	19.7
土木	東北震災復興関連工事	福島県浪江町除染、岩手県鎌ヶ崎防潮堤 他工事	171.1
	広島市	千田地区地下道築造27-2号工事	10.8
	独立行政法人都市再生機構	西八千代北部地区N工区整備 (その1) 工事他1件 (枠組み協定型一括入札)	15.3



(DPL川口領家)



(芦屋中央病院)



連結貸借対照表

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



連結貸借対照表

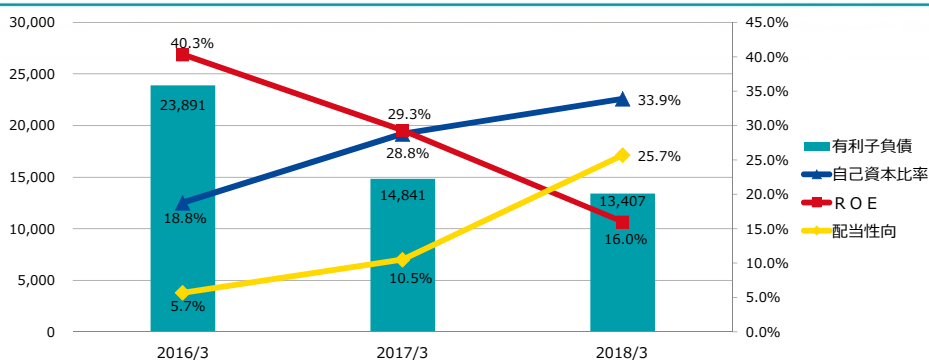


(単位：百万円)

資産の部	2017/3	2018/3
流動資産	89,411	88,147
固定資産	14,984	15,268
有形固定資産	4,715	4,788
無形固定資産	397	471
投資その他の資産	9,871	10,008
資産合計	104,395	103,415
負債の部	2017/3	2018/3
流動負債	63,613	55,670
固定負債	10,710	12,521
負債合計	74,324	68,191
純資産の部	2017/3	2018/3
純資産合計	30,071	35,223

25

決算数値詳細



(単位：百万円)

	2016/3	2017/3	2018/3
有利子負債	23,892	14,841	13,407
R O E (自己資本利益率)	40.3%	29.3%	16.0%
自己資本比率	18.7%	28.7%	33.9%
配当性向	5.7%	10.5%	25.7%

26

中期3カ年計画



前中期計画の検証



前中期3カ年計画（2015年度～2017年度）の振り返り



基本方針

外部環境に的確に対応し、安定した業績を継続し、営業利益20億円以上を常に確保する。

重点施策

注力分野を明確にした利益重視の受注の継続

リニューアル強化とコスト構造の見直しを柱とした収益力の向上

人材の確保・育成および適正配置

財務内容の強化

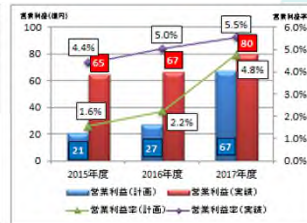
業績(連結)



受注高



売上高・売上総利益率



営業利益・営業利益率

注 2016年度の計画値は期初公表数値(2016年5月13日発表)を記載。
2017年度の計画値は期初公表数値(2017年5月10日発表)を記載。
2017年度の実績値については、2018年2月8日公表の見込みを記載。



新中期3カ年計画

2018年度～2020年度

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



創業理念である「**和の精神**」「**誠意・熱意・創意**」のもと、
「**仕事が仕事を生む**」の企業精神にのっとり、

**誠実なモノづくりに専心し、
社会の安全・安心・快適の増進に寄与します。**

和の精神

和を以て貴しとなすの精神で、体裁だけを取り繕うのではなく、自らにも他人にも正直に、意見の相違があれば、互いにそれをぶつけ合い、理解し合うということを本質とする精神。

誠意・熱意・創意

誠意：私利私欲を離れ、正直に熱心にことにあたること。
熱意：何に対しても常に挑戦する気持ち。
創意：常に新しく独創的な考えを持つ意識。

仕事が仕事を生む

誠実なモノづくりを遂行することで、企業への信頼・信用が生まれる。
それこそが次の仕事がいただけるための最大の機会を生むという精神。

コーポレート・スローガン

誇れる歴史がある 創りたい未来がある

私たちが大切にしているものは、125年の長きにわたり培ってきた

先人から受け継いできた

伝統

お客さまとともに築いてきた

信頼

浅沼組を支えるすべての

ひと

目指す企業像

- 技術とノウハウに裏打ちされた独自性をもって、顧客に選ばれる企業
- 変化を的確に捉え、ニーズに誠実に応え、社会から信頼される企業
- 社会の期待に応え、社員が誇りをもって働き、継続的に成長する企業

社会情勢

- 課題先進国日本（人口減少および急速な高齢化）
- 社会インフラの老朽化と維持更新
- 異常気象や災害の多発
- 第4次産業革命（IoT、AI、ロボットなどの技術革新）（※1）
- 「生産性向上」および「働き方改革」

建設業界

- 人口減少・東京五輪需要の終焉による建設投資の縮小
- 新築中心から既存建設物の維持管理・更新の重点化
- 民間活力による社会資本整備の維持・運用（PPP、PFI、コンセッション等）（※2）
- 建設技能労働者の高齢化および大量離職
- 「生産性向上」推進と「働き方改革」への取り組み

（※1）IoT：インターネットによって物を通じて収集されたデータを解析した結果をフィードバックする仕組み。
AI：人工知能。

（※2）PPP：公民が連携し公共サービスの提供を行うこと。
PFI：公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営を民間企業により、効率的に公共サービスを提供すること。
コンセッション：公共施設などの施設の所有権を公的機関としたまま、運営を民間事業者が行うこと。

堅調な建設需要が見込める当中期3ヵ年期間（2018年度～2020年度）において、将来の厳しい経営環境下でも安定した成長を続けることができるよう「基礎固め」の3年間とします。



浅沼組らしさ（独自性）の追求

私たち浅沼組が将来も自らの使命である「社会の安全・安心・快適の増進に寄与する」を果たし続けるには、たとえ厳しい環境になったとしても、成長し続ける必要があります。そのために、浅沼組らしさを追求し独自性の確立が急務と考えています。

浅沼組らしさ（独自性）

得意・注力分野に磨きをかけ、お客さまとの距離感を大切にし、技術力に裏打ちされた多様なサービスを提供できる企業

基本方針 (3本の柱)

建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

新技術・新事業への挑戦

持続的成長に資する経営基盤の確立

中期3ヵ年計画：個別施策①-1

基本方針

建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

浅沼組の主たる事業である「建設事業（建築・土木）」において、将来にわたり安定した収益が確保できるように、得意・注力分野の競争力を向上させるとともに、建設生産フローのそれぞれの段階（企画・設計・営業・施工・維持管理）のさらなる強化に取り組みます。

1 最終利益を見据えた受注活動の推進

2 建設生産フローの再構築による収益力の強化

3 リニューアル分野への取り組み深化（※）

4 誠実なモノづくりに必要な品質・安全の確保

（※）リニューアル：既存建物、構造物の長寿命化や用途変更を目的とした改修・改築・維持管理・更新。

中期3ヵ年計画：個別施策①-2

1 最終利益を見据えた受注活動の推進

- 見積り精度向上の為に、コスト管理室を新設し、見積り部門と購買部門を一体管理
- 見積り精度向上の為に利益増減要因のデータ蓄積
- 民間建築における設計施工案件の受注拡大

2 建設生産フローの再構築による収益力の強化

- ICT(BIM・CIM・タブレット・グリーンサイト等) 活用による生産性向上
- 協力会社との協働による生産性向上
- 作業所週休2日の実現

3 リニューアル分野への取り組み深化

- ライフサイクル営業（新築からアフターメンテナンスまでフォロー）推進
- リニューアル設計の強化

4 誠実なモノづくりに必要な品質・安全の確保

- 作業所の品質監査の強化
- 安全品質環境本部の新設による品質管理の統一、厳格化

基本方針

新技術・新事業への挑戦

建設事業における将来の厳しい競争環境を見据え、同業他社に対し優位性を確立することを目指し、保有技術の見直しとともに、新技術・工法の研究開発に挑戦します。また、収益源の多様化を目指し、新フィールドへの挑戦を実践します。

1 保有技術の洗練化及び活用による優位性の確立

2 新技術・工法への積極的な取り組み推進

3 建設事業における新領域への挑戦

4 海外の既存拠点強化及び新たな展開への取り組み

1 保有技術の洗練化及び活用による優位性の確立

- CCB工法（当社特許）の洗練化（鉄筋コンクリート壁のひび割れ制御工法）
- タイル剥落防止工法（当社特許）の洗練化（特殊なシート活用による外壁からのタイル剥落防止工法）
- 特殊充填コンクリート（当社特許）の活用（耐震補強用コンクリート）
- RMブロックの活用（耐震補強用ブロック）

2 新技術・工法への積極的な取り組み推進

- 技術研究所の補修・増築・試験機器の更新
- 免震・制震技術の高度化
- 低炭素型環境配慮コンクリート開発
- 道路会社との共同開発による高速道路維持更新手法の実用化
- 動線解析システムの実用化（熟練技術者の技能の見える化）

3 建設事業における新領域への挑戦

- コンセッション事業への取り組み

4 海外の既存拠点強化及び新たな展開への取り組み

- 海外M&A

基本方針

持続的成長に資する経営基盤の確立

取り巻く環境や多様化する社会や顧客ニーズの変化に対し、柔軟に対応できる、「働き方改革」を含めた経営基盤（人材・組織・財務）の確立およびさらなる強化に取り組みます。

1 優秀な人材の確保・育成
及び活躍できる環境の
整備

2 環境変化に的確に対応でき
る、一体感のある組織体制
の構築

3 健全な財務基盤の
維持・強化

4 コーポレート・ガバナンスの
さらなる強化（※）

（※）コーポレート・ガバナンス：株主・顧客・取引先・従業員など企業を取り巻くさまざまなステークホルダー（利害関係者）が企業活動を監視して、健全かつ効率的な経営を達成するための仕組み。「企業統治」と訳される。

1 優秀な人材の確保・育成及び活躍できる環境の整備

- 職務給の導入
- 研修の充実
（実地型研修棟施設建設、協力会社向け研修）
- 働き方改革
（長時間労働是正、有給休暇取得推進、柔軟な働き方推進）
- 福利厚生の充実
- 資格取得推進

2 環境変化に的確に対応できる、一体感のある組織体制の構築

- 建築事業本部による東西建築部門の統合管理
- 危機管理の強化

3 健全な財務基盤の維持・強化

- 資金の有効活用

4 コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

- 政策保有株への的確な対応
- 指名報酬委員会の適切な運営
- I Rの強化

中期3ヵ年計画：資金投入

目指す企業像の実現に向けた積極的資金投入として
3年間で **200億円** の資金投入を実施します。

■ 投資計画

- ◆ 技術研究所関連およびICT^(※1)・基幹システム関連等への投資
 - ◆ コンセッションおよび海外事業強化(M&A等)に向けた投資
- ▽ 投資利益率が当社資本コストを上回る水準を目指します。

50億円

50億円

■ 使途計画

- ◆ 協力会社との連携強化を目的とした支払いの現金化^(※2)

▽ 上記は行政機関からの要請に積極的に対応するものであり、協力会社に対する支払いを現金化するために要する金額であります。

100億円

(※1) ICT：Information and Communication Technologyの略で、情報・通信に関する技術の総称。

(※2) 平成29年3月改訂『建設業法令遵守ガイドライン(第5版)-元請負人と下請負人の関係に係る留意点-』(出典：国土交通省・建設産業局建設業課)において、平成28年12月の下請中小企業振興法に基づく振興基準等の改正を踏まえ、下請代金の支払手段に係る項目を追加し、『下請代金は出来る限り現金払い』との文言が明記されました。

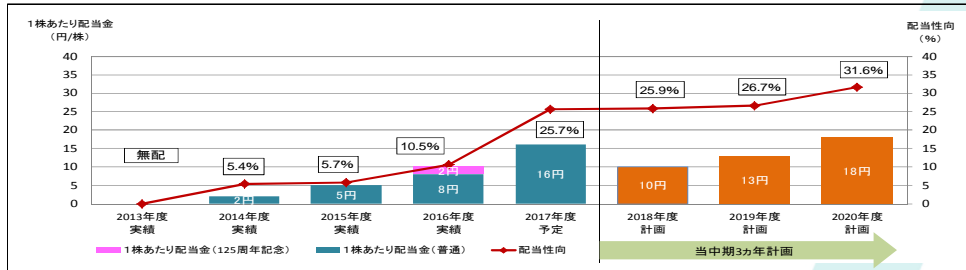
中期3ヵ年計画：株主還元

基本方針

安定した配当維持を第一に、財務体質の一層の改善や将来に備えた内部留保の充実を基本方針とし、業績に応じた適正な利益還元を実施します。

中期3ヵ年計画の最終年度である2020年度には、

連結配当性向は原則として **30%以上** を目指します。



(注1) 2017年度の配当額は、2018年6月末開催予定の株主総会にて最終決定します。

(注2) 2018年度の配当額は、2018年5月11日に公表した予想値です。

(注3) 2019年度、2020年度の配当額は、P46「経営指標について」の計画値より計算した参考値です。

中期3ヵ年計画：経営指標

中期計画主な経営指標として、最終年度である2020年度(連結)に、
 営業利益率 **5.0%以上**、自己資本比率 **40.0%台**、
 自己資本当期純利益率(ROE) **10.0%以上** とする。

【主な経営指標(連結)】

(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 計画	2020年度 計画	備考
受注高	1,387	1,300	1,330	1,360	
売上高	1,434	1,295	1,366	1,389	
完成工事高	1,421	1,283	1,354	1,357	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 完成工事高について、東北復興大型工事や大型倉庫建築工事の2017年度完成により、2018年度は対前年減となる見込み。 ◆ 売上高営業利益率は、2020年度に5.0%以上、投下資本利益率(ROIC)は3ヵ年とも資本コストを上回る水準とする。 ◆ 自己資本利益率(ROE)は、2020年度に10.0%以上の水準とする。 ◆ 自己資本比率は、安定した財務基盤の確保を目的として40.0%台を確保する。
その他売上高	12	12	12	32	
営業利益	79	49	62	72	
売上高営業利益率	5.5%	3.8%	4.6%	5.2%	
投下資本利益率(ROIC)	11.4%	7.0%	8.4%	9.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	52	32	40	47	
自己資本利益率(ROE)	16.0%	9.0%	10.6%	11.4%	
自己資本比率	33.9%	36.0%	41.0%	47.0%	
資本コスト	5.0%	5.0%			

コーポレート・スローガン

ほこ **誇れる歴史がある** つく **創りたい未来がある**

私たちが大切にしているものは、125年の長きにわたり培ってきた

先人から受け継いできた

伝統

お客さまとともに築いてきた

信頼

浅沼組を支えるすべての

ひと

 株式会社 浅沼組

2018年5月16日

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



お問合せ先
I R 部

T e l 06-6585-5500 F a x 06-6585-5556